

平成 20 年度 第 4 回 神奈川県作業療法士会理事会 議事録

日 時：平成 20 年 11 月 20 日（木） 19:00～21:20	場 所：神奈川県作業療法士会事務所
出席者：渡邊 佐藤 錠内 鈴木 作田 机 松藤 野々垣 浅海 中西 池田 田中 松本 千葉 長谷川 原 澤口 野本 竹田	
議 題	内 容
会長挨拶 1.中間監査に して（原監事）	法人化、来年度の組織編制に関して、中間監査の報告があるので、各部から承認事項を中心に議題報告してもらう。 * 別紙資料あり 1.会計監査について ・帳簿、現金品は、概ね適性に行われている。 ・書式等を統一したことで、会計に関する記載間違いが著しく減少した。 ・県士会全体の出納帳が未作成であることが一番大きな問題。 野々垣：事務局とともに作成していく 年度末までに用意する ・組織内で分かれている部は、部としてまとめた会計書類必要。 ・利子の取り扱い、現金で返してもらっても通帳との整合性が悪くなる。 今後利子の取り扱いに関して検討が必要。 ・現金の扱いに関して、立会人の役割が不明瞭 事務局にて、一般的な方法を調査、検討して提案する 2.業務監査について ・業務は概ね年度計画通りに遂行されている。 ・会議録をきちんと作成してほしい。会議録の書式の統一の検討が必要。 事務局にて、書式の提案をする 3. 監査方法 ・比較的短時間でできた。円滑に進んだ。事務局員の事前準備と書式の統一の成果と思う。 ・各部、委員会は監査への事前準備をさらにしっかりとやってほしい。
2.各部報告 1) 学術部 （中西理事）	* 別紙資料あり 【審議事項】 1.部員の承認 承認 1) 研究助成事業準備班 貫久美子（衣笠病院 長瀬ケアセンター） 石川哲也（横須賀共済病院） 2) 学術誌刊行準備班 永井善大（横須賀市立うわまち病院） 【報告事項】 1.講習会実施報告 ・生涯教育講座（職場管理者養成講座）「臨床でのリスク管理について」 H20.10.18（土）横浜リハビリテーション専門学校にて実施。 当士会員：51名、当士会員外：OT8名、他職種（PT）3名、計62名

	<p>2.講習会予定変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野別講習会（身体障害分野）について 平成 20 年 12 月 13 日（土）開催予定「RA の作業療法」 講師の講義時間の変更：6 時間 4.5 時間（講師の都合により） 受講費変更：県士会員 4,000 円 3,000 円、県士会員外 12,000 円 9,000 円 <p>3.生涯教育講座の資料代について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県士会員外から資料代として 500 円徴収している。県に問い合わせた。県より：参加費を無料にする決まりはない。参加費の徴収は構わないが、得た収入は生涯教育講座の運営のために支出しなくてはならない。次年度からは、柔軟に受講費の設定を考えていきたい。 <p>4.学術誌、研究助成について</p> <p>準備を進めている。今後も報告していく。</p>
<p>2).ウェブサイト 管理委員会 (作田理事)</p>	<p>*別紙資料あり</p> <p>【審議事項】</p> <p>1.メールアカウントの追加契約について 承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールアカウントの空きがない。必要とあれば増加したほうが良いと思う。5 個単位での追加契約（月額 262.5 円、年間 3,150 円）となる。追加契約を希望したい。学術からアカウントを要請した。 <p>中西：現在、1 個もらっているが、メールの数が増えているため整理して対応したい。</p>
<p>3)生涯教育制度 委員会 (代読：澤口 事務局長)</p>	<p>*別紙資料あり</p> <p>【報告事項】</p> <p>1.現職者選択研修の予定（誤正）について</p> <p>1) 老年期障害領域の作業療法 平成 21 年 2 月 11 日（水）平成 21 年 1 月 12 日（日）ウィリング横浜 講師：土井勝幸氏、水島眞由美氏、森井聡氏</p> <p>2) 身体障害領域の作業療法 平成 21 年 1 月 12 日（日）平成 21 年 2 月 11 日（水）ウィリング横浜 講師：浅井憲義氏、大森みかよ氏、湯澤大輔氏、富永孝之氏</p>
<p>4)情報統計部 (松藤理事)</p>	<p>*別紙資料あり</p> <p>【報告事項】</p> <p>1.会員動向 1,326 名（協会会員数：1,512 名）県士会入率 88%</p> <p>2.会費納入状況（10 月 31 日現在） 20 年度会費納入 880 名（前回比+69 名）コンビニ利用 712 件 納入率 64.9%（前年同時期 51.3%） 会費納入は、昨年比にして 300 件近く同月で増えている。 渡邊：三役会にて新入会費に関する議論があった。コンビニ決算など事務費用にあてたらどうか、検討して欲しい。</p> <p>3.他部からの調査依頼について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福利部より、県内認定 OT リスト、地域別新人 OT の内訳、出身校別の内訳について依頼あり

<p>5) 福祉用具検討委員会 (机理事)</p>	<p>調査結果は、紙媒体で出力し、事務局内で閲覧できるよう保管している。</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 講習会について</p> <p>1) PT・OT スキルアップ研修 平成 20 年 10 月 12・19・26 日 (日) 実施。 参加者：40 名 (PT22 名、OT22 名) 当日欠席：PT1 名、OT5 名</p> <p>2) 住宅改修の基礎知識と OT の実践 平成 20 年 11 月 24 日 (月・祝) 10:00 ~ 16:30 ウィリング横浜 講師：雨森隆子氏、神鳥博道氏、中浦俊一郎氏</p> <p>2.HCR 報告 参加スタッフ (県士会より): 三浦、野々垣、秋葉、牧山、田中、木下、机</p>
<p>6) 福利部 (田中理事)</p>	<p>* 別紙資料あり</p> <p>【審議事項】</p> <p>1. 部員の承認 承認 奥田萌 (汐田ヘルスクリニック)</p>
<p>7) 財務部 (野々垣理事)</p>	<p>* 別紙資料あり</p> <p>【報告・審議事項】</p> <p>1. 中間監査について ・ 会計書式の不備や未決定の部分があり、次年度に向けて検討していく。</p> <p>2. 会費の督促について ・ 会費の督促を 1 2 月に行う。 渡邊：(組織が県士会から法人へ移行するにあたり) 会員の整理に関しては どういったやり方があるのか? 整理して提案ほしい。</p> <p>3. 法人化に向けた会計業務について ・ 税理士に関して、税務署対策の部分が一番多いと思う。 ・ 会計士に業務委託してはどうか。書類チェックなど。 鈴木：一般的には 50~60 万ほどだが、もう少し割安なものがあるとのこと。 渡邊：税理士は必要である。法人化の前から入るか、どう入るかに 関して臨時三役会で議論する。 浅海：企業会計よりも公益法人に慣れている方が良いのでは。契約の仕 方に関しても色々ある。月 1 回アドバイスをいただく、コンサルティング してもらうなど。</p>
<p>8) 広報部 (池田理事)</p>	<p>* 別紙資料あり</p> <p>【報告・審議事項】</p> <p>1. 活動の現状・次年度体制について ・ 次年度広報部員の動向予定について ・ 次年度ニュース発行の維持について ・ 現状の活動の見直しと今後の体制について</p> <p>2. 次年度の広報活動について ・ 活動について</p>

<p>9)企画調整 委員会 (浅井理事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改変について 企画調整委員会の組織図案の審議事項にて検討する 3.活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) 1万人健康ウォーク実施 平成20年11月8日(土)9:00~15:00 2) 県士会ニュースの発行、チラシについて 3) 次年度の広報部体制について * 別紙資料あり 1.平成21年度の中長期骨子案 3本柱 <ul style="list-style-type: none"> ・作業療法の独自性、作業療法の普及、会員サービス 2.平成21年度組織図案 <ul style="list-style-type: none"> ・OT協会本部のものを模範にした形を提案 各部・委員会より <p>野々垣：財務と事務局の関係、財務は事務局機能の一部としてもいいのでは。 浅井：事務局は全体の総括的な役割が本務、連携は重要だが独立は必要。 事務局は、財務部を手伝ってもらって役割分担で良いと思う。</p> <p>錠内：広報部として残さなくても、役割を3つに分けてそれぞれ部として行ってもいいのではないか。 浅井：推進月間はずっと企画調整が行っていた。どこまで組織を細かくするか、決めていく必要がある。</p> <p>池田：ニュース、推進月間など、それぞれが中心的にやる事がはっきりとしてくれば、業務の分散ができればいいのでは。</p> <p>鈴木：法人化対策委員会は法人ができたなら、終了だが。公益法人も目指すなら、どういった役割をもたせて存続させていくか。名称はどうしていくか。</p> <p>錠内：情報統計は事務局に機能を吸収されるということで良いのか？ 松藤：機能としては事務局に情報が集まっているので、良いと思う。ただ分析等行う責任理事が必要かどうかは検討が必要。</p> <p>浅海：地域リハと福祉用具検討委員の役割は？役割としては講習会が中心になっている。 渡邊：研修会、講習会の管理など整合性がないのも確かだ。 浅海：法人化後は内向きの講習会と外向きの講習のすみわけは必要。</p> <p>作田：ウェブサイト管理委員は、いろいろな部門との連携が重要になるので、独立性をもたせる必要はあると思う。</p> <p>原：理事の仕事はいったいなにか？といまでも思うが、理事と部長の役割をしっかりさせていく必要がある。 浅海：理事は本来、部のお目付け役だから、部長との兼務は難しいだろう。 渡邊：ご意見を十分にいただきました。拡大三役会で議論し、たたき台を提出</p>
----------------------------------	---

<p>10)法人化対策委員会(鈴木理事)</p>	<p>します。</p> <p>【報告事項】</p> <p>1.定款について</p> <p>1)2条:事務所の所在地に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県横浜市とする <p>2)57条2項:公告の仕方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子広告と決まっているが、どうやって受け取るか? <p>http://kana-ot.com/koukoku/koukoku.htmにて公告する</p> <p>3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会が、任意団体としての解散総会と新法人としての設立総会となる。現県士会に入会している会員は新法人へ。 1月の県士会ニュースにて会長挨拶としてニュースに掲載する。 <p>【法人化手続きについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登記に必要な書類の押印について 本日、理事全員終了
<p>3.事務局(澤口事務局長)</p>	<p>* 別紙資料あり</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 後援依頼について</p> <p>1)「かながわ地域リハビリテーションフォーラム」共催依頼 三役にて承認</p> <p>2)「神奈川県介護支援専門員研究大会」後援依頼 三役にて承認</p> <p>3)「第2回神奈川県特定施設研究大会」について</p> <p>2.都道府県士会連絡協議会より</p> <p>1)OT推進モデル事業の報告締切(12月中)について</p> <p>書式を澤口から池田に渡す。</p> <p>2)協会との連携のための協会広報部員を募集</p> <p>協会の認証ページを見ることができ、様々なダウンロードができる。</p> <p>広報部から池田、松本を登録する。</p> <p>3)作業療法推進活動パイロット事業 学術部が担当する</p> <p>4)作業療法の日について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月25を制定。9月25日を挟んだ形で推進キャンペーン期間とする。 <p>広報部として検討する</p> <p>【検討事項】</p> <p>1.「神奈川県エイズ対策推進協議会」より表彰推薦依頼あり(締切1月9日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かながわレッドリボン賞 推薦者がいれば事務局へ <p>2.法人化後の入会金に関して 承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OT協会は3,000円。定款により、新組織より入会金をとる。 <p>渡邊:協会と同額はいささか高い。事務手数料として1500円を提案したい。</p> <p>根拠は事務局長でつめていく</p> <p>【その他】</p> <p>1.総会(議案作り)までの流れ</p> <p>12月3日 拡大三役会:新組織体制の審議 旧組織にて議案の作成</p> <p>1月8日 三役会:議案書の提出</p> <p>1月15日 理事会:審議</p>

2月12日 臨時三役会(中止): 議案書の修正等をMLで
予算案の提出を財務まで(2月10日締切)
2月19日 臨時理事会: 議案最終確認 印刷へ(ニュース3月号に同封)
3月12日 三役会: 予算案の最終確認
3月19日 理事会: 予算案の成立

2. 役員選挙の流れ(案)

12月3日 新組織体制決定 理事定数の決定、選挙管理委員会の依頼
役員選挙の公示(立候補者を募る) 1月号のニュースへ同封
役員立候補者の結果公示 3月号ニュースへ同封(間に合わなければ、独自
発送となるか)

3. 役員改選に関して

- ・選挙管理委員長は、鴻井 建三氏(横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター)に依頼した
選挙に関しては本部の規約に準ずる
立候補者が定数内であれば、選挙は行わない方向でいきたい。
浅井: 3月31日の時点で立候補者がいない場合がある
渡邊: その場合は理事会推薦で行う。
定数を定めるためにも新体制を早期に確立したい。

4. 解散及び設立総会、役員選挙までの流れの確認

浅海: 議案書の書式は例年通りか?
渡邊: 1月8日には提出なので早い段階でお知らせする。
中西: 議案の書き方の指示はいただけるか?
渡邊: 12月3日は拡大三役会としているが、できるだけ多くの出席がほしい。そうすれば議決することができる。そこで検討させていただいた上で、メール上で流し、ご意見を頂き、その後は一任していただきたい。その件は承認いただきたい。

4. 今後の日程

臨時三役会 平成20年12月3日 18:30~
第5回三役会 平成20年1月8日 18:30~
第5回理事会 平成21年1月15日 19:00~
以上

書記: 野本義則(副事務局長)、竹田博子
文責: 澤口勇